

随意契約理由書

神戸市

件名	西神中央駅西側駅前広場再整備工事その4
契約業者名	港建設株式会社
随意契約の理由	地方自治法施行令第167条の2第1項第6号に該当

随意契約の相手方を選定した理由

本工事は、西神中央駅西側の駅前広場において、バスロータリーの上屋の改修に合わせて周辺舗装等を改修するとともに、一般車ロータリーに設置した身体障がい者乗降場の上屋及び公共用歩廊の上屋を新設することで、西神中央駅前のリノベーションを行い、人口誘引を図るものである。

本工事の対象区域において、交通局が同時期に「西神中央駅前バスターミナル上屋建替工事」にてバスロータリーの上屋を再整備（以下「交通局工事」という。）しており、バス乗り場や歩行者動線を変更しながらの施工を予定している。本工事は、交通局工事と同時期に歩道等の改修やバス上屋に接続する公共用歩廊の上屋を整備する必要がある。

本工事の対象区域の大部分が交通局工事の施工ヤードと重複するため、請負人が異なる場合は並行して施工ができず、仮設物の撤去・再設置など全体工期が長くなるが、請負人が同一の場合、並行しての施工だけでなく一体的な仮設物の維持管理が可能となり、安全費等の削減が図れるとともに安全・円滑な施工が可能となる。また、本工事の対象区域である駅西側は、地下鉄とバスの乗り換え動線となっており、バスロータリーには一日約1,000便（乗降合計）のバスが発着、駅・広場間には一日（7：00～18：00）約29,000人の通行があり、これらの通行機能を維持しながら施工が必要となるため、仮設物の盛替えを最小限に留めることが安全上も有効である。

また、交通局工事で施工する上屋と本工事で施工する公共用歩廊の上屋は接続するとともに、受注生產品で同一のデザインにするため、請負人が異なる場合は接続部の不具合による瑕疵担保責任が不明確になるとともに、受注生產品である特質上、製作工場が異なることによる仕様の違いにより、意匠上の不一致が発生する可能性がある。

以上から、駅前広場の機能を維持しながら安全にかつ円滑・迅速に確実な工事を実施するとともに、整備する上屋の瑕疵担保責任を明確にするため、地方自治法施行令第167条の2第1項6号「競争入札に付することが不利と認められるとき」に該当し、交通局工事の請負人と随意契約を締結する必要がある。なお、交通局工事においては、令和6年4月17日の請負審査会で承認を得て、入札説明書に追加随意契約がある旨を記載している。交通局工事も進んでいることから本工事について、随意契約を行うものとする。

担当部署 (問合せ先)	建設局駅前魅力創造課 (電話番号 3 2 2 - 6 9 8 0)
------------------------------	--